

第 108 号議案に係る予算決算委員会  
審 査 報 告 書

令和 2 年 第 5 回 臨 時 会  
(10 月臨時会)

令和 2 年 10 月 13 日 (火)



## 第108号議案 令和2年度豊岡市一般会計補正予算（第12号）

第108号議案について、予算決算委員会における審査の結果を報告する。

本案は、予算全体を見直し、今後の執行見込額を精査した上で、過不足が生じる経費や今年度の人事異動による人件費の整理、アイティ4階フロアの取得と子育て支援総合拠点等の整備及び生涯学習サロンの整備などの関連経費の補正、債務負担行為補正及び地方債補正を行おうとするものである。

慎重に審査を行う中で、一部委員から、本案の修正を求める動議が提出された。

提案理由の主な内容は、次のとおりである。

㈱さとうが所有するアイティ4階フロアの購入は、一民間企業の赤字救済に対する公的資金の投入と言わざるを得ない。

また、平成14年のアイティ豊岡都市開発㈱再建に係る債権者合意内容の不履行に関する件、および今回の3者（豊岡市、㈱さとう、アイティ豊岡都市開発㈱）合意における金融機関の関わり方について、疑問がある。

市財政の危機並びに豊岡市公共施設再編計画、第4次行財政改革等に相反する財政支出および、アイティ4階フロア取得に伴う今後のアイティ全体に係るランニングコスト等、市の責任や関与が増大することへの懸念もある。

今回のような重要な案件でありながら、議会への説明から補正予算の提案まで、十分な審議時間が確保されない当局対応は、議会軽視と言えるものであり、不信を招くものである。

これを受け、一部の委員より修正案に反対の立場から、

修正案を通すとなると、全体の計画についても、債務負担行為についても、生きがい創造学院もダメとなり、全てが白紙に戻ってしまう。㈱さとうにはパートナーとして協力してもらい、市政推進にもご尽力いただいている。また、4月開講を心待ちにしている生きがい創造学院のみなさん、子育て総合センターの拠点ができると思っ

いるみなさんの期待を裏切ることになるのではないかと。非常に悲しくなる。

子育て支援総合拠点等整備事業が遅れてしまう。地方創生臨時交付金についても期を逃すと、交付を受けられない可能性が出てくる。市長と議長宛に要望書が数多く出されている。

㈱さとうは、市政推進、市街地活性化の良きパートナーとして、永年にわたり、尽力していただいている。そして、アイティ豊岡のさとうグループは、完全な黒字にならなくても撤退するとは言っておらず、現状の赤字が少しでも減少できれば、現在の体制で引き続き頑張るという意思表示もされている。その中で、「一企業支援」だと、突っぱねてしまうことは、大きな問題であり、今後の市の市政進展が見通せないほどの大打撃になることを、各議員が、それぞれしっかりと認識し、責任ある態度、行動をとるべきであると考えている。

㈱さとうがアイティの核店舗となって、中心市街地、また駅前再開発に大きな力を注いでもらうためには、残っていただくことが一番だと思う。

11月1日に豊岡南道路が完成し、開通する見込みとなった。豊岡は但馬の中核都市であり、アイティが豊岡の顔、但馬の顔でもあり、この存続が、今後の山陰近畿自動車道の延伸などを踏まえて、まちづくりの観点から、これからの都市計画事業の大きな力になると思う。また、4階フロアの取得価格については、㈱さとうからの言い値ではない。アイティ関連事業予算は、不動産鑑定評価に必要な予算であり、幼児から高齢者まで親しまれる施設としての構想の予算である。

よって、修正案には反対である。

との意見が5名の委員から出された。

一方、賛成の立場から、

アイティ関連の予算については、あまりにも性急で、唐突であり、議会として研究する時間がない提案である。㈱さとうの撤退は、豊岡駅周辺のみならず、豊岡の商業にとっても、まちづくりにとっても重要・重大な問題であるが、多額の公金投入であ

り、㈱さとうの支援であることに変わりはないと考える。

公共施設マネジメントでは、アイティ4階フロアを買収することで、新たに統廃合の対象となる施設が増加することは重大な問題だと考える。アイティ4階に生涯学習サロンや子育てセンターを整備することは、買収費と建設費だけでなく、毎年の駐車場負担と管理費が4,180万円にもなり、7階の負担とあわせると約7,000万円になる。すでに建設から20年経過し、今後の大規模改修時の市の負担は、相当な額と判断される。市の財政に及ぼす影響を考えると、さらなる検討が求められると考える。

アイティ4階フロアの取得に係る予算は、公金支出のあり方として認められず、一民間会社の経営支援となると理解している。また、公金の使い方としての公正・公平という理念にも反していると考える。その他、金融機関の関わり方、市財政の長期見通しが厳しい中の高額な市の負担見通し、議会手続きのまずさ等、様々な問題点も指摘されている。

アイティ関連予算に反対する議員が当局に示した質問と意見に対して、納得できる回答は得られなかった。今回の問題は、アイティ駐車場の駐車料金に関するものであるが、その額を坪当たり1,500円とした場合に、㈱さとうの負担の軽減は約5,200万円と言われている。しかし、5,200万円では㈱さとうは納得できないということである。今、合意されている内容を㈱さとうの軽減額に当てはめると、8,200万円となり、その差額3,000万円がいわゆる㈱さとうの経営支援に当たると思われる。そうした内容も含めて再度、㈱さとうとの協議をした上で、市が向こう10年間、49億円にのぼる長期財政計画上の赤字を少しでも埋める努力が議会として必要だと考える。旧町の子育て支援策についても、公平、公正にやっていくべきだと考える。

今回のアイティ関連事業は、しっかりとした計画に基づいているいろんな討議をしながら、市の予算を執行していくことに、なっていないと思う。

アイティ関連予算だけをもう一回考え直すという趣旨の修正案であり、賛成である。との意見が4名の委員から出された。

このため、まず、修正案について採決を行った結果、賛成多数で可決すべきものと決定しました。

次に、修正箇所を除く原案について採決を行った結果、全会一致で可決すべきものと決定しました。

－ 以 上 －